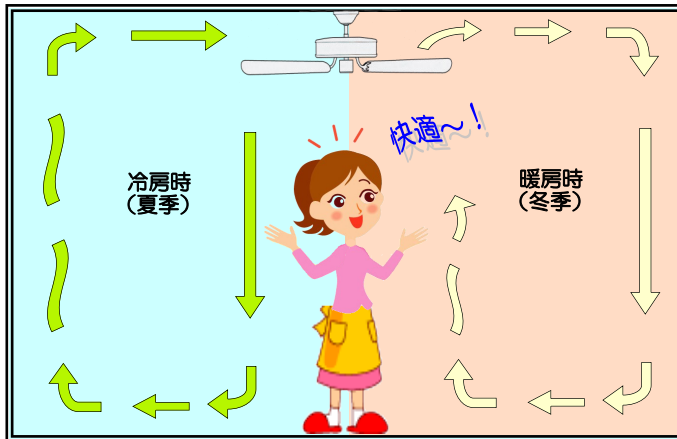


ファンの取付位置と回転(送風)方向

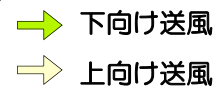
通常の天井高（約3.5m以下）



通常天井高の部屋(3.5m以下)では標準取付又は直接取付がお勧めです。

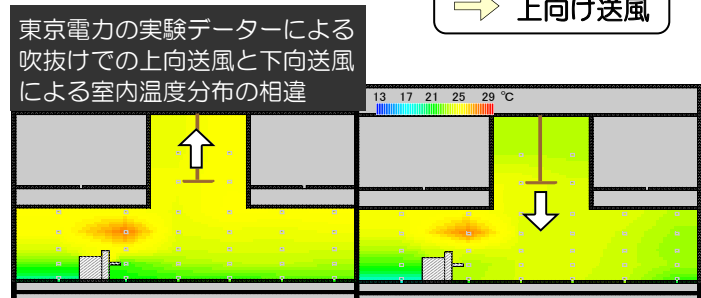
寒い時(暖房時)には【上向き送風】にして天井の暖かい空気を壁伝いに床まで下ろしながら、暖房を部屋全体均一に循環し温度ムラを防ぎます。

暑い時(冷房時)には【下向き送風】にして空気の流れて体感温度を下げると同時に、冷房の冷気を部屋全体均一に循環し冷え過ぎと温度差を防ぎます。



吹抜けの天井高（約3.5m以上）

吹抜天井などの天井高が高い(3.5m以上)の空間に取付ける場合には、延長ロッドを使い最大限の空気循環効果が得られる高さに取付ける事が重要です。

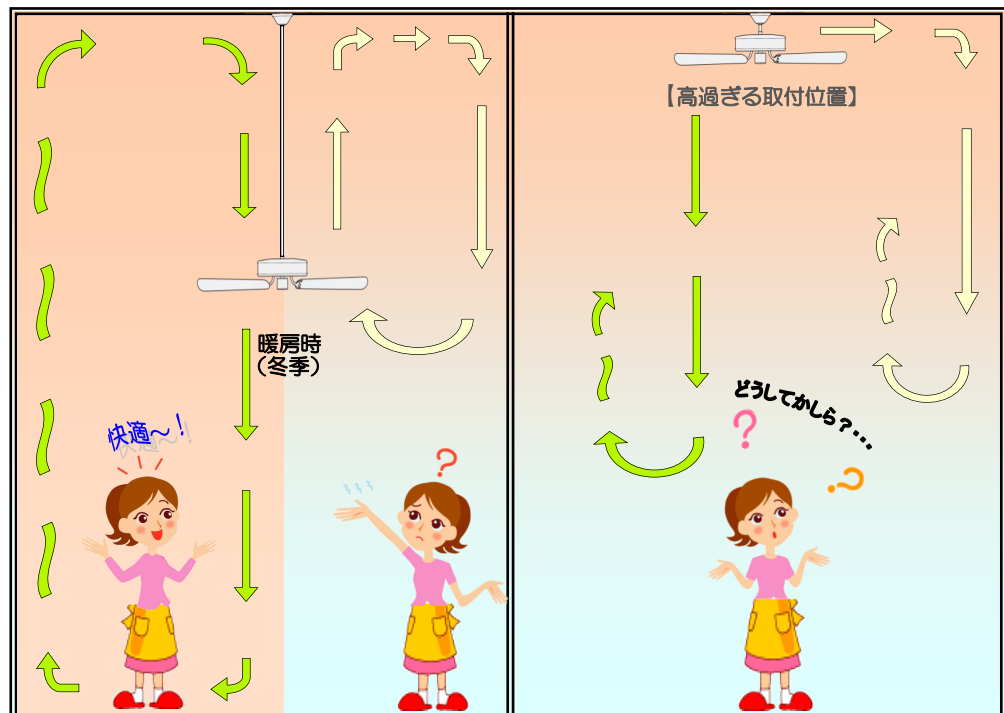


高過ぎる位置に取付けると

【空気の低い伝導率】の為に、どちら方向に送風しても空気が床まで押下げられずに、空気自体の温度差による浮力で途中で上昇してしまいます。（下右図）

延長ロッドを使ってファンの位置が床から『約4.5m以下』になる様取付けると効果的です（*）。暑い時(冷房時)には【下向き送風】にして空気の流れて体感温度を下げると同時に、冷房併用の場合にはエアコンからの冷気を部屋全体均一に循環し冷え過ぎと温度差を防ぎます。

寒い時や暖房時に上向きに送風すると送風空間(距離)が大き過ぎる為に、天井の暖気を床に届くまで押下げる事が出来ず途中で上昇してしまい床まで届きません。その為【下向け送風】をして暖気を床まで押し下げて空気循環を起こします。つまり【一年中下向け送風】にします。



(*) 効果的な取付高さは部屋の広さや形状により多少異なります